

日本甲状腺学会雑誌 論文投稿規定

[1] 投稿資格

日本甲状腺学会雑誌に寄稿する筆頭著者または共著者は本学会の会員であることを要する。ただし、編集委員会が認めた場合は非会員の共著者も認める。共著者10名までとし、それ以上になる場合は編集委員会に確認を要する。

[2] 内容

1. 本雑誌の原稿は甲状腺およびそれと深い関連を有する事項に関する原著(基礎研究, 臨床研究), 症例報告, 短報とし, 他誌*に掲載されていないもの, または他誌に投稿中でないものとする。

[3] 論文の受付

1. 論文の投稿は日本甲状腺学会 maf-jta@mynavi.jp へメールにて添付する。原稿は, 和文抄録も含め本文および表はMicrosoft Wordあるいはテキスト形式のみ受け付け, 図はMicrosoft Word, Powerpoint, JPEG あるいはTIFF形式のみ受け付ける。
2. 原稿は原則として邦文とするが英文も受け付ける。

[4] 論文記載の順序・形式

1. 原著(基礎研究・臨床研究)の場合, 8,000字(要約は和文400字, 英文200語以内, 図表なども含む)以内とし, 図・表は総計8点以内とする。
2. 症例報告の場合, 6,000字(要約は和文400字, 英文200語以内, 図表などを含む)以内とする。
3. 短報の場合, 3,000字(要約は和文400字, 英文200語以内, 図表などを含む)以内とする。
4. 図・表は1枚を400字とする。
5. 原稿(図表などを含む)の体裁, 長さ, 文体などについて著者に修正を求めることがある。
6. 原著・症例報告・短報いずれの場合においても, 論文投稿時に英文での論文タイトル・簡潔表題・要約・著者名(共著者全員)・所属・キーワードの記載を必須とし, 英文校正済みの原稿を提出すること(英文校正業者のネイティブチェックによる「英文校正証明書」の添付が望ましい)。英文が十分でない場合は編集委員会にて英文校正を行い再投稿するよう求める場合がある。

[5] 論文審査

論文掲載の採否は2名以上の審査員の審査結果に基づき編集委員会が決定する。論文の再投稿受付期間は編集委員会からの手紙の日付から3ヵ月とし, それ以後に投稿された場合は新論文として扱う。

[6] 校正

- 1) 著者校正は原則として初校のみとする。また校正時の原稿の加筆, 修正は誤字などのほかは認めない。
- 2) 正誤表は刷上りの論文が著者の校正と異なる場合にのみこれを作成する。

[7] 著作権

掲載論文, 抄録等の著作権は日本甲状腺学会に帰属する。

[8] 費用

- 1) 投稿料は10,000円。
- 2) 掲載料
原著 40,000円, 症例報告 30,000円, 短報 20,000円
- 3) 規定ページを超える場合, 1頁あたり15,000円の著者負担。
- 4) カラー印刷の代金, 図のトレース代は著者負担

[9] 別刷

掲載論文の著者は別刷を作製することができる。それに要する実費は著者の負担とする。著者校正時に添付されている料金表を参照し別刷希望部数を記載する。

[10] その他注意点

(1) * : 他誌とはIndex Medicus, 医学中央雑誌などに集録された学術誌, またはこれに準ずるものをいう. 上記以外の冊子(研究報告書・記録集など)に投稿, 掲載済みの論文についてはその旨をあらかじめ明記すること. 個々の事例は編集委員会の責任において, その適否を決定する.

(2) 倫理関係

- 1) 症例報告等患者情報の記載のある論文については, 患者のプライバシーに十分配慮し, インフォームドコンセントを得た上で投稿する.
- 2) すべての著者は, 承諾確認書に自筆で署名し, pdf形式の電子ファイルとして, 編集委員会に送付する.
- 3) 臨床研究の場合はヘルシンキ宣言(ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則, 1964年6月世界医師会総会)を基礎として厚生労働省の臨床研究に関する倫理指針, 疫学研究に関する倫理指針, ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針, 遺伝子治療臨床研究に関する倫理指針に準拠し, 施設内倫理委員会による研究計画の承認を受け, 被験者からのインフォームドコンセントを取得する. 論文中に倫理委員会の名称, 承認日, 承認番号などを明記する.
- 4) 動物実験の場合は動物の愛護および管理に関する法律(昭和48年10月1日, 法律第105号), 実験動物の飼育および保管並びに苦痛軽減に関する基準(平成18年4月28日, 環境省告示第88号)などを参照して科学的および倫理的規範に準じて行い, 施設のガイドラインに準拠していることを論文中に明記する.
- 5) 投稿にあたってすべての著者は投稿時から遡って過去1年以内における利益相反(COI)について, 所定の様式自己申告によるCOI報告書にて申告する. 著者1名につき1枚の報告書提出とする. 自筆で署名し, pdf形式の電子ファイルとして, 編集委員会送付する. ただし, 論文の内容によって編集委員会は追加情報の提供を求めることがある. 利益相反関係については論文の末尾に掲載する. COIがない場合は, 「申告すべきCOIはない。」などの文言を記載する.

(3) 原稿の作成の注意点

- 1) 原稿1枚目に表題(略号を用いないこと), 著者名(ふりがなつき), 所属機関名と住所(研究室名, 教室名を含む), 25字以内の簡潔表題, キーワード(5個以内)を日本語と英語で記載すること.
- 2) 記述はワードプロセッサを用い明朝体フォントを使用し, 現代かなづかい, かな交じり, 横書きとすること. なお, 図表にはゴシック体フォントを使用すること.
- 3) 略語は文中初出時に全綴りの後に()内に記し, 以後は略語のみ記載する. 略語は一般的に通用しているものを選び, 原則として新しい略語を作らないこと.
- 4) 外来語および外国人名で慣用訳のないものは原字そのままを用いること. 動物, 植物, 細菌などの学名はアンダーラインを付し(印刷の場合はイタリック体), 命名法によって属名の最初の1字のみは大文字にすること. 文中の外来語は固有名詞(人名, 商品名など)を除き, 小文字を使用すること. 薬品名は一般名(和名)をまず示し, 初出時のカッコ内に英名・略語を記載すること.
- 5) 度量衡の単位はm, cm, μ m, nm, pm; L, mL, μ L; kg, g, mg, μ g, ng, pgなどを用いる.
- 6) 数を表すにはすべて算用数字を用いるが, 成語はそのまま用いること.
(例: 一般, 同一, 1回, 1度)
- 7) 引用する文献は20以内とし, 本文中においては順次番号をつけ, 本文の終わりに番号順に列挙する. 共著者名は全員列挙すること. ただし共著者が4名以上の時, 3名まで記し, “他”, “et al”, とする. 外国誌の場合は“List of All Journals Cited in Pubmed®”の略名を用いる.

文献記述例:

雑誌

引用番号) 著者名. 論文タイトル. 雑誌名. 発表年; 巻: 頁-頁.

例1) 田尻淳一. 機能性甲状腺結節に対する放射性ヨード治療. 核医学. 2006; 43: 75-83.

例2) Luton D, Gac IL, Vuillard E, et al. Management of Graves' disease during pregnancy: The key role of fatal thyroid gland monitoring. J Clin Endocrinol Metab. 2005; 90: 6093-8.

単行本

引用番号) 著者名. タイトル. (編者名. 著書名. 巻. 版.) 発行地: 発行所: 発行年. 頁-頁.

例1) 堺 章. 目でみるからだのメカニズム 第1版. 東京: 医学書院; 2000. pp.00-00.

例2) Ringsven MK, Bond D. Gerontology and leadership skills. 2nd ed. New York: Delmar Publishers; 1996. pp.205-15.

以上の規定は2019年4月1日から適用する。

日本甲状腺学会雑誌“Letters to editor”投稿規定

1. 本規定は“Letters to editor”への投稿原稿のみに使用するものとする。
2. 投稿は会員，非会員を問わない。
3. 最近の本誌に掲載された論文に関連する疑問あるいは意見を本欄に投稿することができる。採否は編集委員長の判断による。
注) 投稿は誌上に掲載されない場合も，担当編集委員のメール，書状などで，なんらかの返答を行うものとする。
4. 原稿の作成にあたっては次の諸点に留意されたい。
 - 1) 原稿は和文で文献（5本以内），図表を含め，原則として400字詰原稿用紙4枚以内とする。
 - 2) 原稿第1枚目に簡潔な標題，著者名，所属機関名，連絡先を明記し「『編集者への手紙』希望」と朱記すること。
 - 3) 記述はワードプロセッサを用い明朝体フォントを使用し，現代かなづかい，かな交り，横書きとすること。なお，図表にはゴシック体フォントを使用すること。
 - 4) 略語は文中初出時に全綴りの後に（ ）内に記し，以後は略語のみ記載する。略語は一般的に通用しているものを選び，原則として新しい略語をつくらないこと。
 - 5) 外来語および外国人名で慣用訳のないものは原字そのままを用いること。動物，植物，細菌などの学名はアンダーラインを付し（印刷の場合イタリック体とするため），命名法によって属名の最初の1字のみは大文字にすること。文中の外来語は固有名詞（人名，商品名など）を除き，原則として小文字を使用すること。薬品名は一般名（和名）をまず示し，初出時のみカッコ内に英名・略語を記載すること。
 - 6) 度量衡の単位はm, cm, mm, μ m, nm, pm ; L, mL, μ L ; kg, g, mg, μ g, ng, pgなどを用いる。
 - 7) 数を表すにはすべて算用数字を用いるが，成語はそのまま用いること。
（例：一般，同一，1回，1度）
 - 8) 既発表の図（写真を含む），表，その他を引用，転載される場合には，あらかじめ執筆者自身が著作権所有者の許可を得ること。
5. 原稿は，本文および表（Microsoft Wordあるいはテキスト形式のみ受け付ける），図（Microsoft Word, PowerPoint, JPEGあるいはTIFF形式のみ受け付ける）を，全てCD-R等の媒体に入力してプリントアウトしたものと共に添付すること。
6. 著者校正は原則として初稿のみとする。
再校は原則として編集部がこれを行うこととする。
7. 掲載文の著作権は本学会に帰属する。
8. 原稿は
〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-11 湯島ファーストビル
メディカルレビュー社編集部内 日本甲状腺学会雑誌編集部 へ郵送で送付されたい。

以上